

凡例 内=内容 期=期間 日=日時 場=場所 師=講師 対=対象 定=定員 募=募集人数 賃=資格 費=費用

令和5年度上半期の予算執行状況をお知らせします

一般会計

一般会計の当初予算額は357億2,300万円でしたが、その後20億394万8千円の増額補正を行い、9月末の予算額は、377億2,694万8千円(前年度からの繰越予算1,065万5千円除く)となりました。

主な補正内容

〈歳入〉

▶**新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金:4億5,938万円増額**

物価高騰の影響を受けた市民や事業者を支援するための事業の実施に伴い、国庫支出金を増額しました。

▶**子育て世帯生活支援特別給付金事業補助金:6,201万9千円増額**

低所得の子育て世帯に対し、児童1人あたり5万円を給付する事業の実施に伴い、国庫支出金を増額しました。

〈歳出〉

▶**電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業:3億2,485万3千円増額**

物価高騰等の影響を受けている住民税非課税世帯等に対し1世帯あたり3万円を給付する事業を実施するため増額しました。

▶**デジタル地域通貨事業:5,733万6千円増額**

物価高騰対策とデジタル地域通貨の試行導入として、市内の加盟店で利用できるデジタル地域通貨のポイント付与を行う事業を実施するため増額しました。

特別会計

下記の特別会計で増額補正を行いました。

主な補正内容

▶**国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計**

報酬単価の変更に伴う会計年度任用職員の報酬および期末手当の増額

▶**介護保険特別会計**

報酬単価の変更に伴う会計年度任用職員の報酬および期末手当の増額ならびに前年度交付された国・都支出金の精算に係る経費の増額

公営企業会計

下記の公営企業会計で増額補正を行いました。

主な補正内容

▶**下水道事業会計**

汚水ポンプ場の補修工事を前倒しで実施するための増額

執行状況

9月末までの執行状況は表1、一般会計のうち主なものの執行状況は表2のとおりです。また、基金および地方債の現在高は表3・表4のとおりです。

表1 〈9月末までの予算執行状況〉

	予算現額	歳入収入済額	歳入収入率	歳出執行済額	歳出執行率
一般会計	377億2,695万円	151億5,257万円	40.2%	156億5,757万円	41.5%
国民健康保険特別会計	72億3,461万円	29億8,437万円	41.3%	26億7,873万円	37.0%
介護保険特別会計	64億7,077万円	30億2,617万円	46.8%	26億6,370万円	41.2%
後期高齢者医療特別会計	20億2,693万円	8億673万円	39.8%	6億3,603万円	31.4%
計	534億5,926万円	219億6,984万円	41.1%	216億3,602万円	40.5%

下水道事業会計		予定額	執行済額	執行率
3条予算	収益的収入	19億5,745万円	8億8,095万円	45.0%
	収益的支出	18億6,093万円	7億797万円	38.0%
4条予算	資本的収入	17億246万円	5億2,859万円	31.0%
	資本的支出	20億6,271万円	4億5,230万円	21.9%

表2 〈9月末までの予算執行状況(一般会計のうち主なもの)〉

	税	予算現額	歳入		歳出	
			収入済額	収入率	執行済額	執行率
市	税	158億3,222万円	86億5,267万円	54.7%	—	—
民	生	182億813万円	—	—	77億4,311万円	42.5%
教	育	64億7,591万円	—	—	33億5,327万円	51.8%
総	務	32億2,985万円	—	—	12億3,948万円	38.4%

表3 〈9月末の基金現在高〉

	前年度末現在高	上半期積立額	上半期取崩額	9月末現在高
一般会計	75億3,831万円	11万円	3億1,117万円	72億2,725万円
特別会計	6億5,210万円	1万円	0万円	6億5,211万円
下水道事業会計	10億3,650万円	8万円	0万円	10億3,658万円
計	92億2,691万円	19万円	3億1,117万円	89億1,593万円

表4 〈9月末の地方債現在高〉

	前年度末現在高	上半期元金償還額	9月末現在高
一般会計	109億8,471万円	6億5,628万円	103億2,843万円
下水道事業会計	58億2,574万円	3億7,514万円	54億5,060万円
計	168億1,045万円	10億3,142万円	157億7,903万円

※一時借入金かり入れの残高はありません。
※金額は項目ごとに四捨五入していますので、計の金額に一致しない場合があります。

政策経営課財政係

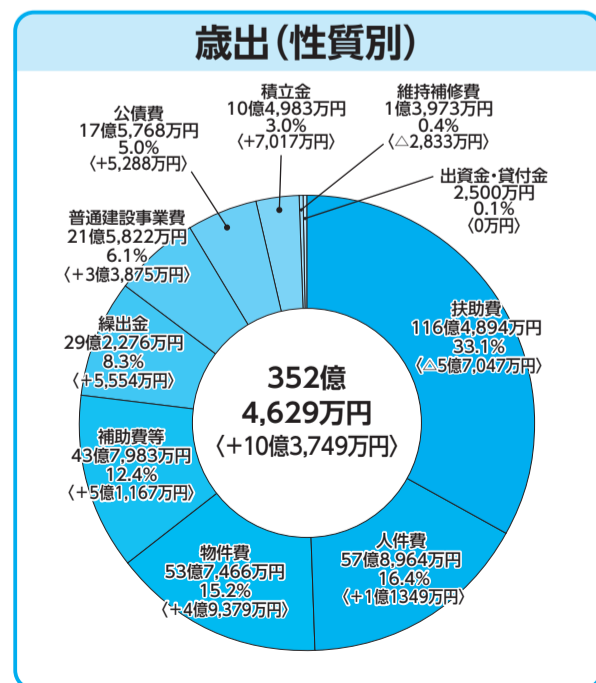
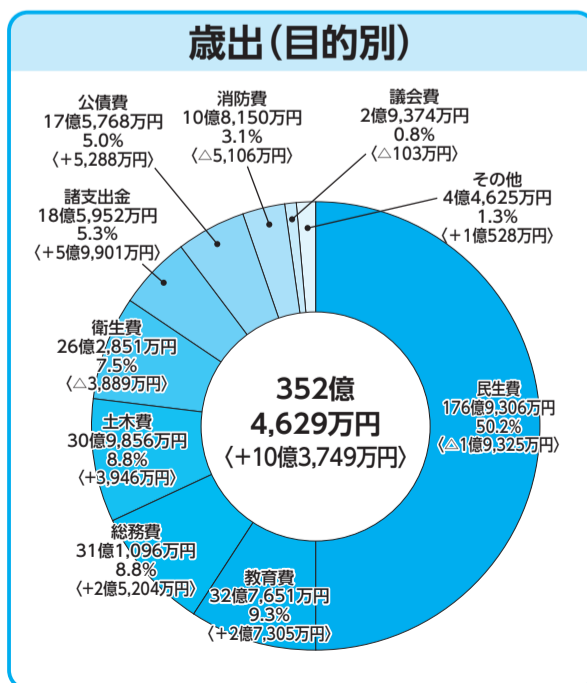
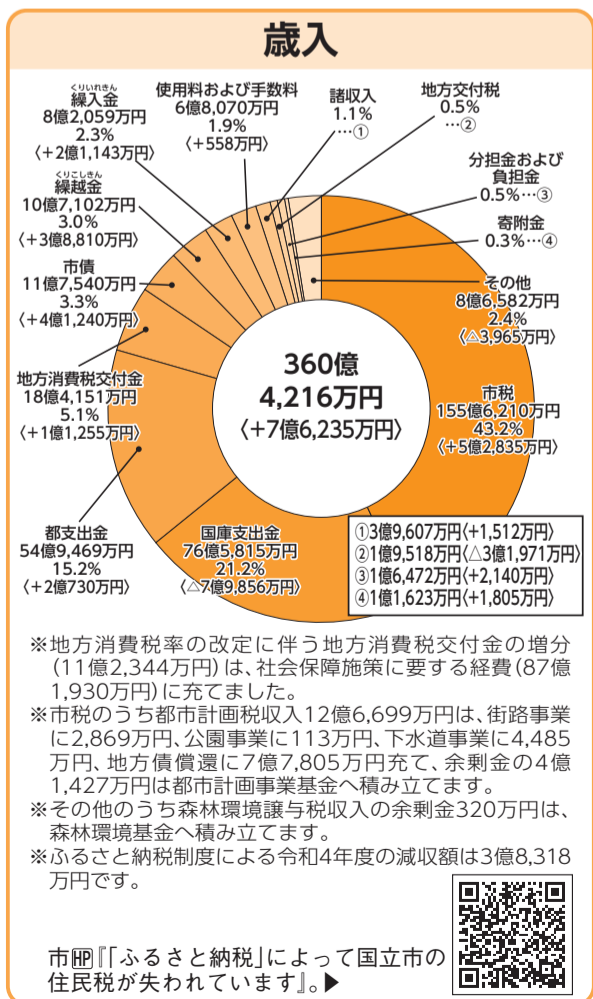
令和4年度一般会計決算についてお知らせします

詳細は、市HP「決算概況」をご覧ください。



令和4年度決算のポイント

- 令和4年度は令和3年度に続き、普通交付税交付団体となりました。
- 経常収支比率は、市税の増がありました。歳出面で障害福祉サービス費の増等により、前年度比で1.7ポイント悪化し、99.1%となりました。
- 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業等の物価高騰対策にかかる事業が多数実施されました。



※金額は項目ごとに四捨五入しているため、計の金額に一致しない場合があります。〈 〉は前年度からの増減額です。

政策経営課財政係

持=持ち物 申=申込方法 問=問い合わせ 電=電話(市外局番042を省略しています) メ=メール ファ=ファクス HP=ホームページ

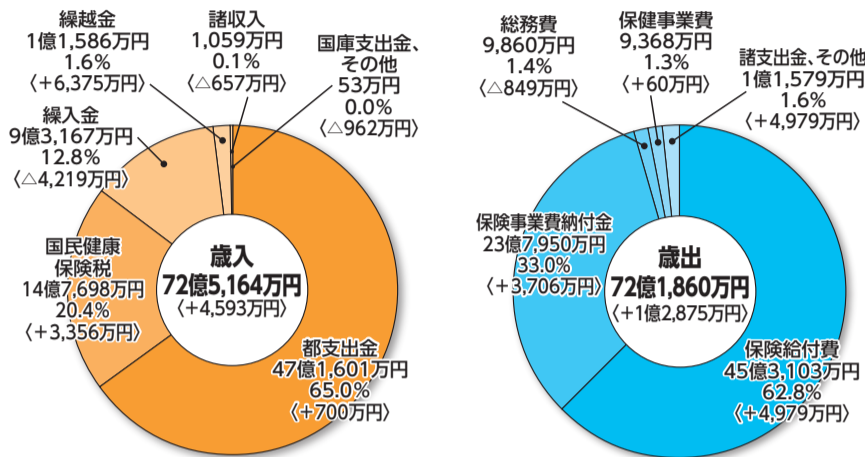
令和4年度特別会計決算状況

特別会計とは、特定の事業を行うため、一般会計から独立して収支経理を行う会計です。

【各グラフ共通事項】金額は項目ごとに1万円未満を四捨五入していますので、計の金額に一致しない場合があります。〈 〉は前年度からの増減額です。

国民健康保険特別会計

医療費等の特定の歳出を、保険税や国等からの特定の歳入によって賄うため、一般会計から独立し、特別会計で経理を行っています。

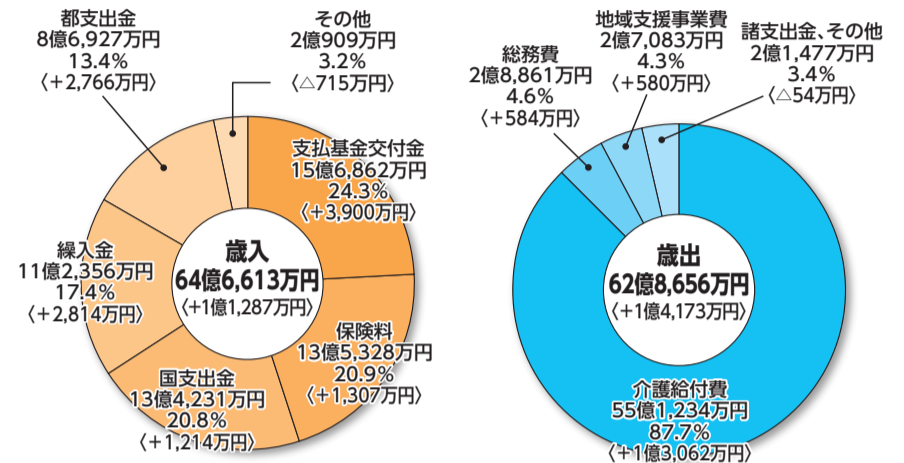


【歳入】国民健康保険税が0.3億円増加したこと等により、一般会計からの繰入金が0.4億円減少しました。

【歳出】療養給付件数が増えたことから、医療費等(保険給付費)が0.5億円の増加となりました。また、保険事業費納付金が23.4億円から23.8億円と0.4億円の増となりました。

介護保険特別会計

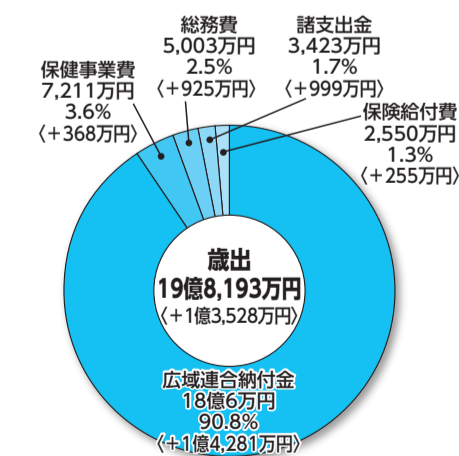
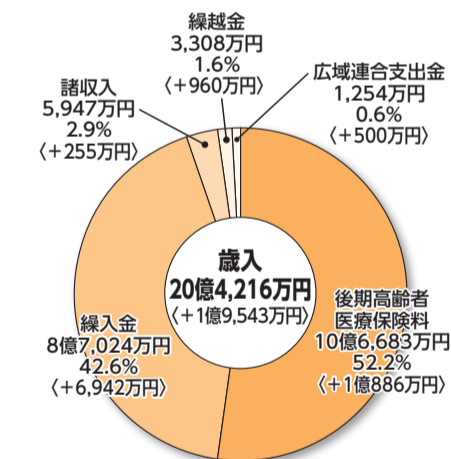
介護保険事業は、40歳以上の方が納める保険料と、国、東京都、国立市が負担する公費で運営されています。これらの財源は、介護サービス費用の保険給付費用に充てられます。なお、職員の人件費などの事務費は一般会計が負担しています。



【歳入】保険料(65歳以上の方の保険料)と支払基金交付金(40歳~64歳の方の保険料)が、歳入の約45.2%で、それ以外が国・都支出金、国立市(一般会計)からの繰入金等です。

【歳出】介護給付費が約87.7%を占めています。地域支援事業費決算は前年度とほぼ同水準で、約4.3%を占めています。

後期高齢者医療特別会計

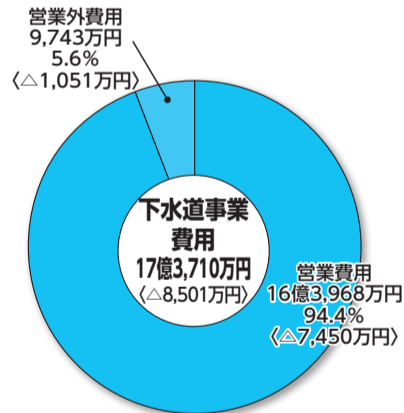
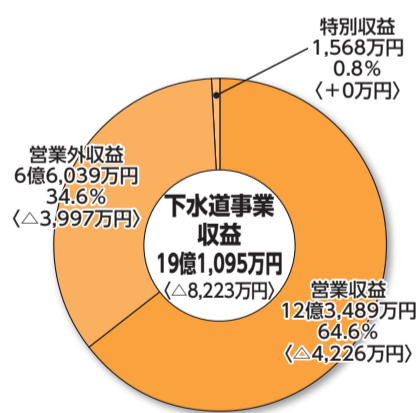


主な歳出は広域連合納付金で、後期高齢者医療制度を運営している東京都後期高齢者医療広域連合の運営費等として支出しました。

令和4年度公営企業会計決算状況

公営企業会計とは、一般会計や特別会計とは別に地方公営企業法を適用した会計です。国立市では令和2年度より、下水道事業特別会計を公営企業会計へ移行しました。

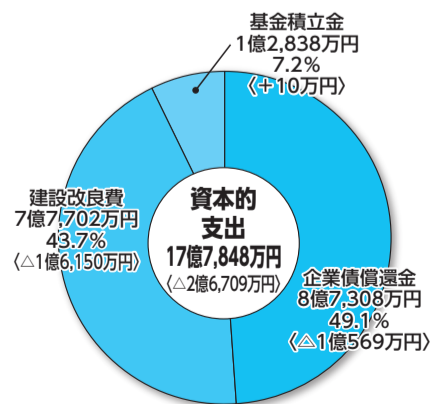
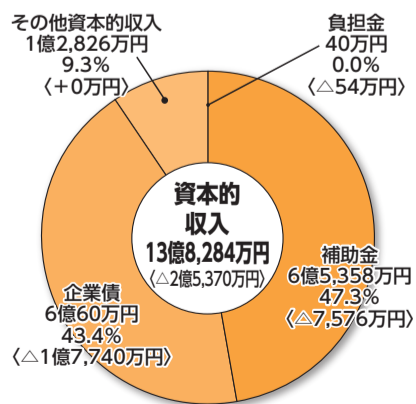
下水道事業会計



収益的収支(下水道事業の運営管理など)

〈下水道事業収益(税込)〉全体の64.6%を占めるのが営業収益で、主なものは下水道使用料や雨水処理にかかる一般会計負担金です。

〈下水道事業費用(税込)〉全体の94.4%を占めるのが営業費用で、主なものは維持管理にかかる費用や減価償却費です。



資本的収支(施設の建設や財務活動など)

〈資本的収入(税込)〉全体の47.3%を占めるのが補助金で、主なものは国庫補助金や企業債償還にかかる一般会計補助金です。

〈資本的支出(税込)〉全体の49.1%を占めるのが企業債償還金です。なお、資本的収支にかかる収入不足額3億9,564万円は、当年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

国民健康保険特別会計：保険年金課国民健康保険係 576-2124
後期高齢者医療特別会計：保険年金課後期高齢者医療係 576-2125

介護保険特別会計：高齢者支援課介護保険係 576-2122
下水道事業会計：下水道課業務係